

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

令和5年度 一学期、始業式で話した内容です。



今日から1年生は2年生に、2年生は3年生に進級することになる。新2年生は、生徒会活動や各専門委員会、学校行事や部活動の中心として、枝光台中学校を活性化して行って欲しいと願っています。また、新3年生は、約8ヵ月後には「進路選択」という人生の岐路に差し掛かる。「夢」と「目標」と「強い意志」を持って、人生の岐路に立ちはだかる「大きな壁」を乗り越えて行って欲しいと思います。

さて、新年度の始まりに当たって、次の2つの話をします。

1つ目は、「将来の夢を持ち、実現に向けて挑戦してほしい」ということです。皆さんの中には、「大きな夢」や「小さな夢」、夢まではいかないけど、「希望」を持っていると思います。夢を実現するためには、「挑戦」がなければ実現はありません。中学校時代は、あらゆることに全力で取り組むことが出来る素晴らしい時期です。学校行事に、勉強に、部活動に、と目の前のことに一所懸命取り組むことが、夢への「挑戦」につながります。先生方も、皆さんの夢の実現を応援します。もし、挫折そうになった時にも、きっと支えてくれます。皆さんの夢の実現に向けて、それぞれの挑戦を期待します。次に2つ目は、「気持ちの良い挨拶」を実行してほしいということです。なぜ「挨拶」をすると気持ちよくなるのか。人と人が出会って、「挨拶」を交わす。この行為に心地よさ、安心感を覚えるのはどうしてなのか。それは、「挨拶」には、周囲への「警戒心」を解きほぐしてくれる役割があります。初めて会った人や、その日に初めて顔を合わせた人に「挨拶」をすると、相手は安心することができる。さらに、この「挨拶」を笑顔でできたならば、「敵ではありませんよ。」という意味だけでなく、「あなたの味方ですよ。」という意味さえ加わり、相手は「認められた」という、幸せな気持ちを感じてもらえると思います。何気ない挨拶ですが、こんなに大切な意味が込められています。笑顔で挨拶が出来れば、さらにお互いに気持ち良くなる。全員で出来れば、「明るく、楽しい、枝光台中学校」になります。ぜひ、自分から気持ちの良い挨拶をして欲しいと思います。

最後に、前任の幸野校長先生から、皆さんの素晴らしい所は、この枝光台中が大好きだということを知っています。これからも、自分の学校に誇りを持つことのできる学校にするために、皆さんの頑張りを期待します。